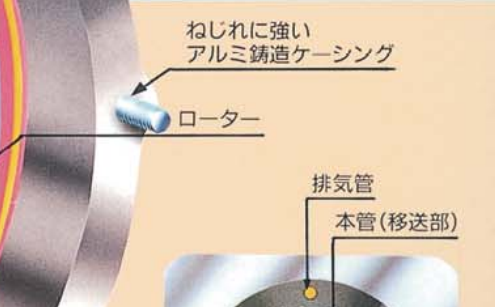
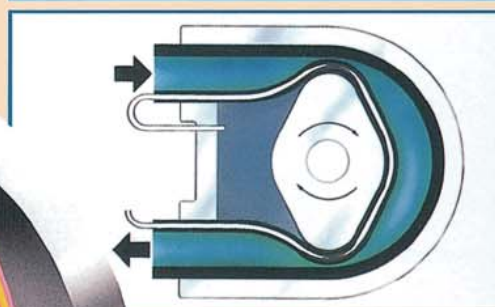
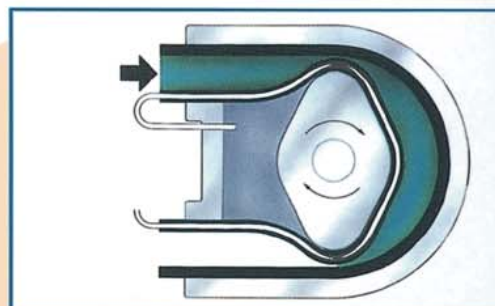
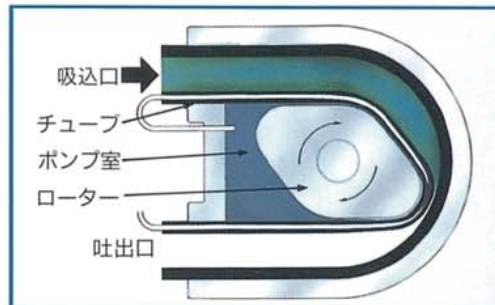


## 動作原理

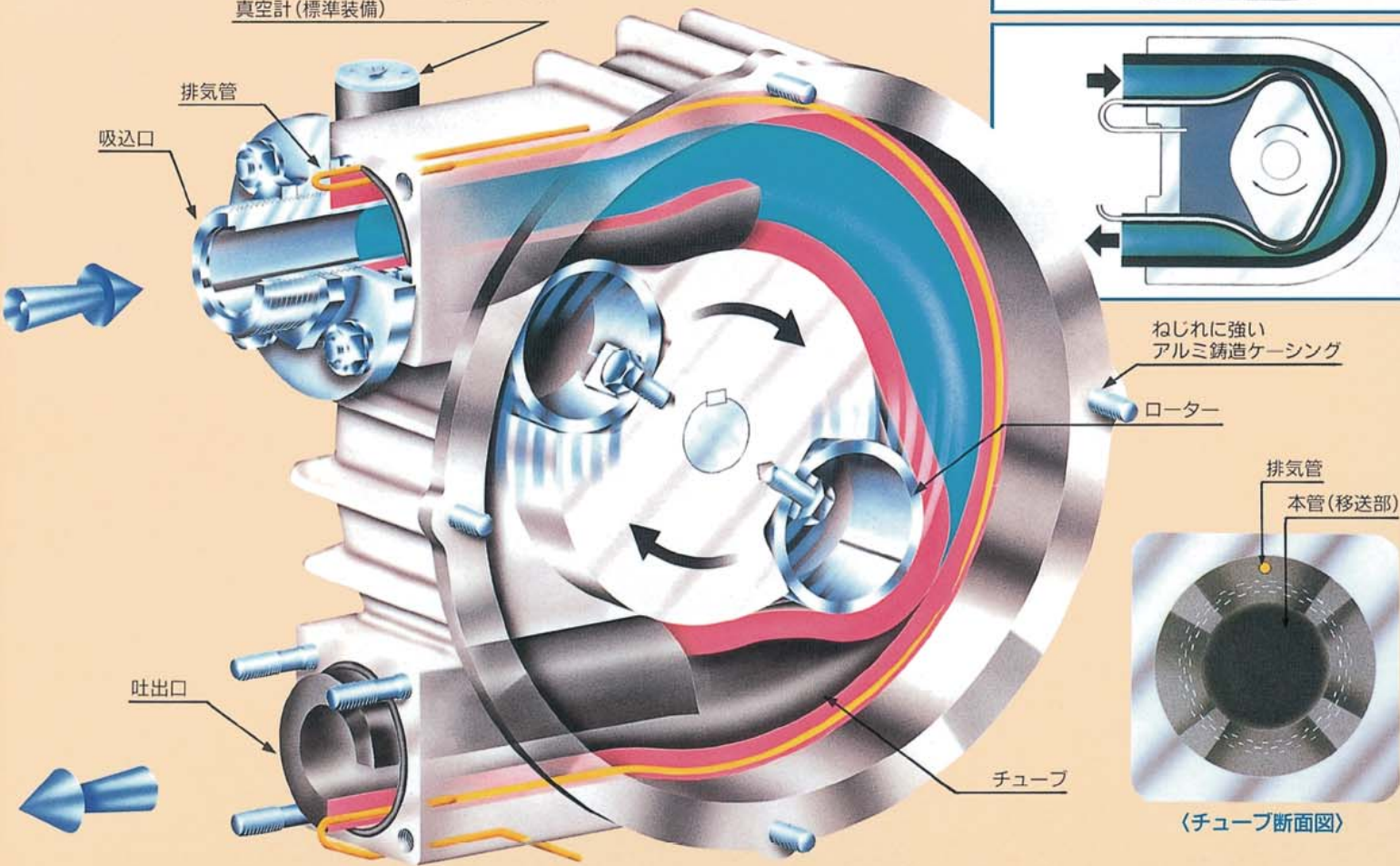
ローターの回転方向に液体やガスを押し出すとともに、押しつぶされたチューブが復元する際に発生する真空圧によって移送物質が吸引されます。



## 画期的な2管構造チューブを採用。 チューブの破損警報が出せる。

- チューブは、右下図のように本管（液送部）と排気管が設けられた2管構造になっています。
- ローターの回転方向に移送液体やガスを押し出すとともに、第2の管である、ポンプ室に連通する排気管をもしこき、ポンプ室の空気を押し出しポンプ室を真空に保ちます。
- この真空により、チューブの復元を助け、9mという極めて大きな自吸能力を実現するとともに、チューブ破損時における移送物や潤滑オイルの外部流出を防いでいます。
- 真空計（標準装備）により、チューブ破損時のポンプ室内の負圧減少が確認でき、真空スイッチ(オプション)を設ければチューブの破損警報を発することも可能になります。

ポンプ室の真空状態を監視するための  
真空計（標準装備）



ねじれに強い  
アルミ鋳造ケーシング

ローター

排気管  
本管(移送部)

チューブ

<チューブ断面図>